ど、夫婦でト

レーニングに励んだ。

80歳とは思えない肉体でト

アスロン歴は今年で30年だ。 武明さん。水泳協会の仲間と出場 ニングをこなして することに。50歳で始め、トライ した水泳大会の打ち上げでの話か 「高校、大学時代は長距離を自 トライアスロンの大会に出場 いるのは、

マラソンや水泳をしていたので、転車で通学していたし、40歳から 水泳、終業後には自転車の練習を が経営する医院の診療前にランニ 大会に出ると決めてからは、 できるかもという気持ちで始めま した。」と小篠さんは話す。 トライアスロンは、 昼休みには不知火プールで 自転車40きだ、長距離走10 水泳1.5 自身

見守った。時には応援だけでなく、 邦子さんは車で後ろから伴走して 宅と三角町を自転車で往復。 マラソン大会に一緒に出場するな また、 休日は不知火町にある自 妻の

> やランニングを練習している。 に月1、2回プールで泳ぎ、 催の大会に出場。その大会を目標 の2カ月前からは戸馳島で自転車 ここ数年は、 年に1回、5月開 大会

ていると思います。」と医師として 動脈硬化などの予防にもつながっ こそ、今まで元気に過ごせていて、 の見解も含めて振り返る。 「日頃の練習を続けているから

数々の大会での経験

象に残っています。」と話す。 となった大会の方が悔しいので印 会よりも、 大会の中で、 タイムオー

大会の中で、良い成績を残した大てきた小篠さん。「出場してきた30年間で28回もの大会に出場し バーで失格

どんなにつらくても諦めず、 少なくない。しかし、小篠さんは がないトライアスロン。そのた め、レースの途中で棄権する人も 回。大雨や大波の影響を受け、タ イムオーバーとなってしまった。 過酷な状況でも中止になること 今までに失格となったのは、 制限

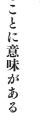
> した。今までトラタイムをオーバー という。 という。その精神力が、めようと思ったことは一 ける力となっている。 トライアスロンに挑み続 ライアスロンを E力が、30年ものノイアスロンをやりながらも完走

続けることに意味がある

に出場している。 昨年からは、

めにも、 柔らかな笑みを浮かべる。 くれる妻には感謝しています。」と 続けるつもりです。 ると思っています。 ましたが、 なったため、 「タイムオーバー 今後もトライアスロン ています。健康維持のた、続けることに意味があめ、ハーンの ハーフの部に転向し サポー するように して を

続くとは思っていませんでした。 ロンへの挑戦は、二人の仲むつま もらっています。」と笑顔で話す。 今では応援という形で楽しませて はないかと心配で、こんなに長く 夫婦二人三脚で臨むトライアス 邦子さんも「当初は倒れるので



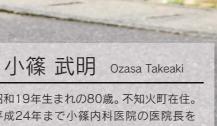
目ともフルの半分の距離)で大会昨年からは、ハーフの部(3種



1 妻・邦子さんと一緒に **2** 平成 20年の大会でお孫さんと共にゴール(当時63歳) **3** 今まで出場した 数々の大会での賞状







SWIM

BIKE

vol.95

昭和19年生まれの80歳。不知火町在住。 平成24年まで小篠内科医院の医院長を 《水泳大会や県民体育祭、パールライン ラソンなどに出場。50歳からトライ スロンを始めて、今年で30年となる。